

USED CAR REPORT

2020年
7月

ユーストカーレポート

コロナ禍の影響によって、気になる中古車輸出の今後の行方 2020年中古車輸出台数は80万～90万台まで大幅減の様相



中尾 聡
NPO 法人自動車流通市場研究所
理事長

出足から恐縮ですが、このレポートを執筆しているのは6月初旬です。時期的には全国的に緊急事態宣言が解除となり、経済活動が再開されてから1週間が経過しました。しかしながら東京アラートが発動され、また新聞紙上では5月の新車販売が前年比45%減と言ったショッキングな記事が紹介されるなど、未だコロナ禍の影響が冷めやらない不安定な状況にあります。

自動車業界においては、生産ラインの正常化まで、それなりの時間を要すると思われませんが、確実に一步、前進はしました。それにともなって、今後新車&中古車販売など国内流通は上向くと期待されます。

一方、日本の中古車が輸出される国々では、未だ感染がピークを超えていない国や、これから感染が本格化する国、すでに第二波が襲来している国があるなど、まったく先が見通せない状況にあります。そんな中、今回敢えて2020年通年での中古車輸出の見込みをレポートさせていただきました。しかし現在、各国の状況は刻一刻と変化しております。このレポートが皆様のお手元に届く7月初旬の段階で多少変わっている可能性がありますので、その点を予めご了承いただければ幸いです。

仕向国各国の現状と今後の展望

例外なく仕向国各国では、この期間、規制の強弱はあるもののロックダウン状態にありましたから、営業が滞っていました。ですから、まずは営業が再開され、在庫車が捌けないことには、日本からの中古車輸入ができない状況になっています。それが一番わかりやすい国がニュージーランドです。同国はいち早くロックダウンを宣言し、世界でも最も厳しい移動や経済活動を制限してきました。これによって販売できず在庫車は滞留、また日本から輸入されていた中古車も港に溢れ、登録することができませんでした。4月末時点で登録待ちの車が2

コロナ禍の影響によって、気になる中古車輸出の今後の行方	1
新車・中古車市場の動向	3
新車販売台数（5月分）	4
中古車販売台数（4月分）	5
新車・中古車登録台数と新中比率	7
ニューカー&テクノロジー	8
日刊自動車新聞 ピックアップ記事	10
20年版査定ガイド発売予定	12

クルマ情報検索 快適サイト【JAAI NET】
<https://www.jaai-net.jp>
無料お試しはホームページから
お申込み下さい

一般財団法人 日本自動車査定協会

発行所 一般財団法人 日本自動車査定協会
〒105-0003 東京都港区西新橋2-34-4
KCビル3階
TEL03(5776)0901(代)FAX03(5776)0906
<http://www.jaai.or.jp/>

JAAI